

# 香川スクールソーシャルワーカー協会 ニュースレター



2017.9.1

第6号

## 2017年度 第1回研修会 自立援助ホーム響～HIBIKI～

7月15日(土)、多度津町の自立援助ホーム響のホーム長 森岡 優氏に、「地域で子どもを支える」というテーマでご講演をいただきました。

まず、白方地区公民館にて、森岡氏から、自立援助ホームの役割、香川県下にある他のホームについて、また、「響」の成り立ちやその活動についてのお話がありました。その後、参加者は実際に「響」を見学させていただき、そこでは入所中の子どもとスタッフさんが快く迎え入れてくれました。「響」は一般的な民家と同じような造りで、家庭的な雰囲気の中で子どもたちが生活している様子が伺えました。

見学後は公民館に戻り、森岡氏が用意してくださったケーキとお茶をいただきながら、ざっくばらんに参加者との間で質疑応答がなされました。育ちの中で生きづらさを抱えた子どもたちに、「生活を共にし、私自身の子育ても見せながら、ホームでいる間に社会でたくましく生きていく力をつけてほしい」と願う森岡氏。さらに、「失敗はどんどんしたらいい。そこがチャンス。守ってあげられるうちは守ってあげる」とも力強く語られました。

参加者は森岡氏の、子どもたちの居場所づくりにかける情熱に圧倒されながらも、自分自身のスクールソーシャルワーカーとして、子をもつ親としてのふるまいを改めて振り返り、それぞれが地域の子どもたちに何ができるのかと考える研修となりました。



「自立援助ホーム」とは、なんらかの理由で家庭にいられなくなり、働かざるを得なくなった原則として15歳から20歳までの青少年達に暮らしの場を与える施設です。

※全国自立援助ホーム協議会 H.P.より



## ピアスーパービジョン

6月17日(土)、丸亀市のひまわりセンターでピアスーパービジョンが開催されました。

—ピアスーパービジョンに参加して—

今回のピアスーパービジョンでは高校教育課並びに義務教育課所属のSSWerが顔を合わせた。高校教育、義務教育それぞれの環境について、各々が活動基盤の構築のために心がけていること、中・高連携についてなど、違う立場で働く者同士だからこそ深め合える話題が多かったと感じる。

学校においては統合や教職員の異動、子どもたちにおいては進路選択という節目に際する時、環境が一変するような状況も起りうる。そんな現場において我々は誰と、何と、どんな場面で、どんな風につながっていけば、その子の声を聴くことができるのか、一緒に考えていくことができるのか。全ての話題の根源はそこにあったように、今思う。

先般拝聴した山下先生のご講演では、『SSW活動はfor schoolではなくin school』という話が印象に残っている。そのことを仲間の話を通して改めて思い返す機会となった。(まんのう町スクールソーシャルワーカー 武川 咲子)

ピアスーパービジョン今後の予定: 10月21日(土)、2月17日(土)

## 会員投稿のひろば「障害児にとってのSSWerの役割」

今回は、長く特別支援学校で勤務されたご経験のある賛助会員の谷本さんから投稿いただきました。ここに、私たちが日々のスクールソーシャルワークにおいて生かすことのできる視点が語られています。

特別支援学校では中1と高1で小中学校からたくさんの生徒が入学してきます。学校選択に当たっては本人も保護者もいろいろ悩まれるケースが多いようです。特別支援学校の教員は新しい生徒を迎えて、期待の大きさに緊張します。同時に、普通校から進学してくる生徒や保護者について「もっと早くから考えておけばよかったのに・・・」と思うことがいくつかありました。

保護者については、福祉制度や卒業後についての知識をもっと知っておいてほしいということです。障害児の保護者同士や同じ障害のある先輩たちから学ぶ機会が少ないようです。福祉制度を学習する機会も少なかったようです。

生徒については、ころや体が十分に(年齢相応に)育っていない人が気になりました。障害が原因ではなく、小中学校時代の様々な経験不足から、「育つチャンス」を逃しているのではないのでしょうか。

香川県ではほとんどの小中学校に「社会福祉の専門家」スクールソーシャルワーカーが配置されています。がんばって子育てをしている保護者に障害福祉制度についての情報提供をすることや、関係機関につなげていくことが期待されます。子どもの発達を支援する視点で障害福祉サービスを利用するようなアドバイスができるのではないのでしょうか。ゆっくり成長している子どもの悩みや希望をじっくり聴き、チャレンジしたいという気持ちを受け止めて、そっと背中を押してあげることもSSWerの役割でしょうか。担任の先生と協力・分担して、「ゆっくりさん」の伴走者になってください。

(元・特別支援学校教員 谷本 守)

## 会員紹介！

### 小川 真理子さん 高松市SSWer

1年目の駆け出しSSWerとして、学びと悩みの日々です。気分転換は本を読むこと、ピアノを弾くこと、旅行をすること。

公私のバランスを大切に、頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

### 土居 やよいさん 丸亀市SSWer

丸亀市のSSWerになって2年目、今は、中学校と小学校で週に3日勤務しています。好きなことはとことん、苦手なことはそこそこで、仕事はひたむきにをモットーに、毎日奮闘しております。

SSWerとして、まだまだ学ぶことも悩むこともたくさんあります。これからも、初心を忘れず、がんばっていきたいと思っています。

## 協会歓迎会！



第1回研修終了後に、丸亀市の旬菜料理「おとと」にて、協会内の親睦をはかる宴が催されました。

歓迎会では会員相互の交流が深まり、美味しいお料理とお酒がすすむ、楽しいひとときとなりました。

協会では、親睦会など飲食を伴う会について、お子さま連れの参加を大歓迎しています。今回参加できなかった方も、次の機会にはぜひご参加ください。



## 編集・発行

今夏も猛暑でした。会員のみなさま、お元気で過ごしてはいかがでしょうか？ニュースレターを通して、会員相互の交流が図られ、さらに協会活動が会員以外の皆様にも身近に感じてもらえるよう、編集広報委員は活動をしています。今後も、皆様からの自由な投稿をお待ちしています。ぜひご協力ください。

香川スクールソーシャルワーカー協会 編集広報委員 岡本 川添 清水 波多江  
事務局：四国学院大学西谷研究室内 香川県善通寺市文京町3-2-1 ☎ kagawakssw@gmail.com